

令和6年中標津町議会3月定例会 委員会代表質問要旨

通告	質問委員会 質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を 求める者
1	厚生常任委員会 1番 平山 光生	子育て応援制度の確立を 1) 子育て世代の雇用拡大対策について 岡山県奈義町では子育てしながら就労できる「しごとコンビニ」事業を行っています。子育て世代は時間の制約があるだけで様々なスキルを持った方がいて、雇用拡大が進む「しごとコンビニ事業」の取り組みは、人手不足の解消のみならず、地域活性化、そして子育て世帯の経済的不安の軽減にもつながると考えます。	町 長
		子育て応援制度の確立を 2) 保育士不足の緩和対策について 下の子の育児休業を取得し園を退所した声がありました。保育士不足が原因と思われます。広島県府中町は祖父母等が3歳未満児の保育を行い月額15,000円を支給する「プラチナ保育事業」を行っています。本町でも「プラチナ保育事業」の実施、3歳未満児の保育料一部補助を実施する必要があります。	町 長
		子育て応援制度の確立を 3) 医療費・給食費の一部負担について 医療費は管内で独自事業を行っていないのは本町のみで、また、給食費無償化の令和6年度未実施は本町と羅臼町です。本町は子どもの人数が多く、両施策を実施には約2億円かかります。2億円の予算を措置できなくてもゼロではなく、給食費の2割負担など少しでも子育て世代を応援する町の真摯な姿勢を見せることが大切では。	町 長 教育長